

あゆみ

No.144

発行/
令和5年9月15日

新潟市立牡丹山小学校 PTA育友会 文化広報部



チェンジ・チャンス・チャレンジ



校長
中村 雅芳

連日、おみくじを引きに子どもたちが校長室にやってきました。正月の風情としてやり始めたことがエスカレートして、図案は現在、三〇〇種類以上になりました。

おみくじにはいくつかルールがあります。「二日に一回」「ハズレはないので何が出ても大事にする」これが大原則です。何が出ても結果を受け入れ、自分なりに意味を見出し、大事にする。細やかな運試しではありますが、そういう人になってほしいという願いを込めて運営しています。

私たち大人も、日常生活で思い通りにいかないことがしばしばありますよね。しかし、嘆いても恨んでも現実は変わりません。それならむしろチャンスだ！と考え方をチェンジし、チャレンジできる人になりたいものです。(と、自分に言い聞かせています。)

チェンジ・チャンス・チャレンジを合言葉に、子どもも大人も前向きに成長していく牡丹山小学校で行きましょう！よろしくお願いたします。

コロナ後の子どもたちの環境を見すえて



PTA育友会会長
鈴木 洋子

今年度よりPTA育友会会長を務めさせていただくことになりました。

令和二年初頭より始まったコロナ禍に対応するためPTA活動の規模を縮小していましたが、令和五年度より徐々にコロナ禍前に戻しつつ活動していくことになりました。

PTAの活動は「家庭と学校が担っているそれぞれの役割を果たしつつ、子どもたちにより良い環境を提供する」という目的のもと、より充実した活動になるようにその時代に合わせながら引き継がれてきました。

今年度もそのような伝統を引き継ぎ、子どもたちが喜ぶこと、子どもたちの学校生活がより良いものとなることを念頭に可能な範囲で活動を行っていきたいと考えています。

これからも皆様のご協力をいただきながらさらに充実した活動ができるよう心掛けてまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。